

外国人住民基本法の制定を求める 全国キリスト教連絡協議会

事務局メール便<不定期>

2025 年9月号 (8月27日発信)

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 日本キリスト教会館 52 号室 RAIK 内

電話 (03) 3203-7575 E-mail: raik.kccj@gmail.com

郵便振替: 00190-4-119379 口座名称: 外キ協

ホームページ <http://www.gaikikyo.jp>

- 目次● ◆緊急声明◆ 「日本人ファースト」から子どもたちを守りたい
◆ 日韓和解と平和プラットフォーム 8・15 共同声明
◆集会案内◆ ・8月30日: 関東大震災虐殺犠牲者 102 年キリスト者追悼記念会
・8月31日: 西関東地方バプテスト連合平和祈禱会
・9月1日: マイノリティ宣教センター「つきいちひろば」
・9月6日: 映画「金福董 (きむぼくどん)」上映会
・9月9日: 難民いのち基金「ここのか祈禱会」
・9月13日: 外キ協全国リレー集会 in 大阪
・9月14~15日: 在日大韓基督教会 (KCCJ) 人権シンポジウム
・9月26日: 日韓オンラインセミナー
・9月27日: NCC 公開講座「日韓条約 60 年とエキュメニカル運動」
・9月30日: 移住連オンライン入門講座

◆緊急声明◆ 「日本人ファースト」から子どもたちを守りたい

2025 年8月9日

全国在日外国人教育研究協議会 (全外教)

先月行われた参議院議員選挙における選挙運動の中、「日本人ファースト」のスローガンを前面に押し出した政党の候補者らが、街頭で声高に演説をしました。

外国人の人権問題に取り組む支援団体などは、この状況に危機感を抱き、7月8日「排外主義の煽動に反対する NGO 緊急共同声明」を発表し団体署名を募り、私たち全外教もこれに名を連ねました。第二次締め切りの7月18日までに、賛同団体数は1143団体にのぼり、各政党と日本政府へ送付しました。短期間の呼びかけだったにもかかわらず、これほど多くの団体から賛同が寄せられたのは、巷に流れる差別的言動によって、外国人や外国にルーツのある方々が傷つけられることへの強い危機感の表れです。

このような「日本人ファースト」の主張をする政党が勢いを増しているとの報道が連日なされる中、「外国人問題」を争点にあげる動きが他の政党にも広がりました。選挙期間中の7月15日には、政府も「外国人との秩序ある共生社会推進室」を発足させました。国民の間に鬱積している不安、不満、困窮についての怒りの矛先を外国人に向ける道具として、この言葉が用いられる傾向が強まっているのではないのでしょうか。政治家が自らの責任の所在を、自分たちの無策や失政、利権の構造に向けずに「そと」にそらそうとして選挙期間中に流された差別的言動によって、日本社会の中で外国人差別が強化され、共生社会が破壊されてしまうことを私たちは恐れています。

2016年の「ヘイトスピーチ解消法」は、差別を解消する教育とそのための取り組みを定めています。「日本人ファースト」は、「日本人を優先する」という意味ですが、同時に「日本人以外は後回しにする」にも聞こえます。排外主義や外国人差別を助長、あるいは正当化しかねないニュアンスをはらんでおり、日本の国内に暮らし

ている数百万人の外国人や日本以外にルーツのある人たちへの支援や権利の保護を軽んじるということにつながる危険性があります。

そもそも日本では、外国籍住民には選挙権すらありません。選挙を前に恐怖で身を縮めて過ごした在日韓国朝鮮人の友人は、「駅前の演説が聞きたくなくて遠回りして帰宅した」「ここに暮らしていていいのだろうか？と考えると、もう、何もかも頑張ることができない」と言いました。私たちの仲間の在日の教員からも「勤務校の経路にある駅前で、候補者が「日本人ファースト」や「外国人問題」と大声で唱えていた。自分も辛かったが、外国人だけでなく日本人の生徒にも聞かせたくなかった」との声があがっています。

そして、今私たちが一番恐れているのは、子どもたちへの影響です。

トランプ政権が「史上最大の強制送還作戦」を掲げているアメリカでは、この5月に南部テキサス州で11歳のヒスパニック系の女生徒自ら命を断ったというニュースが流れました。彼女が亡くなる数週間前から、学校内ではヒスパニック系の子どもたちに対し「強制送還されるぞ」とか「移民税関捜査局に通報する」などといった言葉が投げかけられていたと伝えられています。

子どもたちは、大人たちの姿を見えています。候補者らによる「日本人ファースト」という言葉と、差別的な言動等が街にあふれ連日報道されたことにより、子どもたちは「ああ、こういうことを言ってもいいんだ」と学習してしまいました。今は夏休みですが、学校が始まった時にこれを口にする子どもも出てくるでしょう。差別の言葉により外国人や外国にルーツのある子どもたちの心は深く傷つけられます。口にした側は差別する意図もなく何の気なしに発したとしても、それは刃となって他者を傷つけるということを子どもたちに訴えなければなりません。

「日本人ファースト」を主張する勢力は、「日本人より外国人のほうが生活保護を受けやすい」「外国人が増えて犯罪が増加している」などと言いますが、様々なファクトチェックによって、これらは否定されています。そもそもマイノリティである外国人が圧倒的なマジョリティである日本人より優遇されているなどということはありません。ましてや人間に1番や2番といった格付けや分類ができるはずありません。

多文化共生の学校・社会を実現するために、正しい知識に基づき差別を見抜く目を養う教育が、今こそ求められています。

教育に関わるすべての関係者は、子どもたちとその家族が、ヘイトスピーチ・ヘイトクライムにさらされることのないように、共に協力し合い、排外主義に立ち向かっていきましょう。

8・15 日韓市民社会・宗教者共同声明

2025 年8月

日韓和解と平和プラットフォーム

私たちは2025年、日本の被爆・敗戦80年、朝鮮半島解放80年、そして日韓国交正常化60年という歴史的な転換点を共に迎えました。この意義深い年に、私たちは帝国主義と植民地支配、戦争と分断、冷戦と民主主義に対する抑圧の歴史を振り返り、正義と平和を追求する東アジアの未来を共に構築したいと思います。

今日、世界は戦争と紛争が絶えない中、一極覇権の秩序が終わり、多極化された権力再編への転換期を迎えており、東アジアの安全保障の地政学的構図も急激に変化しています。また日韓両国とも社会の様々な分裂と対立に苦しんでおり、ソーシャルネットワークサービス(SNS)のアルゴリズムで拡散されるフェイクニュースが民主主義の基盤を揺るがしています。

加速する気候危機と人口問題、新自由主義に起因する不平等の深刻化も両国が直面している主要な問題です。そのような中で、大統領の違憲・違法な戒厳令事態を平和的に終結させ、民主的手続きを通じて政権を交代させた韓国市民の行動は、世界の民主主義の歴史に大きな足跡を印しました。

真実と責任、和解と共存の価値を大切にしてきた韓国と日本の市民社会は、対立と分裂を超え、平和と民主主義を共に進めていくため次のように訴えます。ここで私たちは、日韓両国と東アジアの平和と安定を築くためには、あらゆる問題解決の根底において、普遍的価値である人権の尊重を第一とするビジョンを共有することが不可欠であると信じます。

歴史の過ちを直視し、和解の道を歩もう！

植民地支配と侵略戦争の歴史が残した傷は 80 年経っても癒されていません。日本帝国主義によって犯された植民地・戦争犯罪の認識と被害者に対する謝罪、法的賠償がきちんと行われない中、歴史の否定と歪曲で過去を消そうとする試みが繰り返されています。日本社会においては在日コリアンに対する民族教育権の侵害も放置され、さらに今回の参議院議員選挙で吹き荒れたファシズムともいえるべき、外国人に対する差別・排外主義的な運動の登場が深刻な問題となっています。戦後も乗り越えられなかった植民地支配以来の民族差別が、戦前の政治体制への強烈的な復古主義と相まって、日本の政治・経済の矛盾に対する不安と怒りのはけ口としての外国人差別へと変貌し煽られています。

一方、強制動員被害者に対する日本企業の賠償を命じた韓国最高裁の判決と、日本軍「慰安婦」に対する日本政府の賠償を命じたソウル高等裁判所の判決は、被害者と連帯した日韓市民が「65 年体制」を克服した輝かしい成果ですが、日本政府は未だ、この歴史正義に背を向けたままです。日本帝国主義の朝鮮半島植民地支配の不法性を認めた歴史的な判決を履行することは、被害者の人権と名誉、尊厳を回復し、植民地主義の克服と和解に向かうための重要過程です。歴史問題に真摯に向き合い、対話を続ける中で日韓の「和解のモデル」を構築すれば、これは世界の対立・紛争地域への重要な教訓となり、希望のメッセージとなるでしょう。

東アジアを覆う戦争と覇権の影を取り除き、平和の道を歩もう！

今年は第二次世界大戦終戦と広島・長崎への原爆投下から 80 年の節目の年です。ヒロシマ・ナガサキの惨禍をその身に刻まれた日韓被爆者の「核なき世界」への長年の訴えにもかかわらず、依然として核抑止力と軍事同盟に依存した秩序が東アジアの不安を増大させています。東アジアにおける数万人の米軍駐留とそれに基づく覇権同盟の構築、軍事力による対中・対北圧迫は、地域内の軍事・政治的葛藤を深める主要な要因であり、主権と平和、歴史正義の実現を妨げる障害となっています。さらに、米国の第 2 期トランプ政権は、対中圧迫政策で韓国と日本により大きな役割を強要するのみならず、一方的な関税の賦課、通商圧力とともに莫大な国防費増額、米軍駐留費分担金の増額などを要求しています。

軍事力と経済力を動員して強引に主権を侵害する行為は直ちに中止すべきです。特に、核保有国の戦略的対立が集中している東アジアの軍事危機を解決し、「核なき世界」のビジョンを実現するためには、朝鮮民主主義人民共和国（以下、朝鮮）への敵対政策の破棄と多国間安全保障協力体制の構築を基盤とした朝鮮の体制尊重、米朝・日朝関係の正常化、朝鮮戦争の終結と平和協定の締結、各国の核兵器禁止条約の批准などが行われなければなりません。日韓は軍事同盟と軍備増強に頼る対立の道ではなく、敵対的で威嚇的な軍事演習の中断と外交による関係正常化、和解・協力と互惠に基づく平和の道に進むべきです。

日韓の市民社会は、これまで一貫して、大軍拡の道ではなく、外交による朝鮮半島平和協定の締結と日本の平和憲法の擁護と実現、米朝・日朝関係の正常化、東アジア非核兵器地帯化と核のない世界の実現を求めてきました。今こそ、各国政府がこの市民の声に真摯に応えるべき時です。

私たちは、歴史の真実を直視し、過ちを克服する努力の中にこそ東アジアの平和の道が開かれることを改めて確認し、急変する国際秩序の中で両国が直面している構造的な危機を打開することを「共同の課題」として認識し、共に解決策を模索し、国際社会に貢献することを誓います。未来世代により良い世界を引き継ぐために、より広く、より強く連帯し、和解と平和のための道を歩み続けます。

.....

●関東大震災虐殺犠牲者 102 年キリスト者追悼祈禱会●（対面とオンライン）

◇日 時：8月30日（土）14:00～15:30

◇ラップ：FUNI/郭正勲さん（ラッパー・詩人）

◇メッセージ：金迅野さん（在日大韓基督教会 横須賀教会牧師）

◇会 場：日本キリスト教会館 4F 会議室（新宿区西早稲田 2-3-18）

◇呼びかけ：NCC 東アジアの和解と平和委員会

◆オンライン参加の方の申し込み先 ⇒<https://forms.gle/mb4MmVcCjcCzTEr36>

●西関東地方バプテスト連合●平和祈禱会（対面とオンライン）

◇日 時：8月31日（日）13:30～15:00

◇ゲスト：森小百合さん（外キ協「難民いのち基金」運営チーム）

◇テーマ：隣人となるか、友人となるか——難民いのち基金がめざす日本社会と教会

◇会 場：日本バプテスト連盟 静岡キリスト教会（静岡市葵区 2-12-39）

◆オンライン参加の方は ID:840 0878 7486 パスコード:446341

●マイノリティ宣教センター●つきいちひろば9月（オンライン）

各教会・各地の取り組みの最新情報を分かち合います

◇日 時：9月1日（第一月曜日）19:00～20:00

◇ゲスト：中井さつきさん（ほうせんか追悼式実行委員会「ペンによん」）

◆当日の ZOOM ミーティング ID: 830 7409 8368 パスコード: hiroba

●外キ協全国リレー集会 in 大阪●日本聖公会 正義と平和委員会・ジェンダープロジェクト（対面）

◇戦後 80 年～神と人々と世界の声に耳を傾け、平和をつくりだそう～

ドキュメンタリー映画「金福童（きむぼくどん）」上映会

◇日時：9月6日（土）10:30～13:30 ◇会場：大阪城南キリスト教会（大阪市天王寺区東上町 8-30）

●外キ協 難民いのち基金●ここのか祈禱会9月（オンライン）

◇日時：9月9日（火）19:00～19:30 難民・移民の仲間たちと共に生きるために祈りを合わせます

*当日の ZOOM <https://us06web.zoom.us/j/81576448847?pwd=NIHaRp9lLpORRrQ2kiq7pWWhgZrCad.1>

●外キ協全国リレー集会 in 大阪●関西代表者会議／関西外キ連（対面とオンライン）

◇日 時：9月13日（土）16:00～17:30

◇講 演：佐藤信行さん（外キ協事務局）「在日コリアン・移民・難民の現在と私たちの協働課題」

◇会 場：在日大韓基督教会 大阪教会（大阪市生野区中川西 2-5-11）

*オンライン参加の方は <https://x.gd/k3nEO> に、二日前までに申し込んでください。

●KCCJ 人権シンポジウム●在日大韓基督教会（KCCJ）社会委員会／KCC／西南 KCC／RAIK

◇主題 共に生きるいのちの天幕をひろげよう！——宣教 120 周年に向けて

【9月14日】19:00～20:00 《オンライン》

◇記念講演：李清一さん（KCC 名誉館長）「人権シンポジウムと KCCJ の宣教」

【9月15日】10:00～17:30 《対面：KCC》

◇発題①：佐藤信行さん（RAIK 顧問） ◇発題②：趙永哲さん（KCCJ 宣教委員長）

◇発題③：金迅野さん（KCCJ 教育委員長） ◇発題④：石橋真理恵さん（KCCJ 全国教会女性連合会総務）

◇参加費：5,000 円 *14 日だけ参加：資料代 1,000 円

◆申込先 <https://forms.gle/bEBaFd8ax2oPcpgv5>

●日韓オンラインセミナー●日韓和解と平和プラットフォーム

◇日 時：9月26日（金）19:30～21:30

◇講 師：戸塚悦朗さん（弁護士）「韓国併合の不法性と日韓『和解』への道」

◇主 催：日韓和解と平和プラットフォーム日本運営委員会

◇参加費：1,000 円 ◆申込先 <https://peatix.com/event/4536053/view>

●日韓条約 60 年とエキュメニカル運動●NCC公開学習会 第3 回（対面）

◇日 時：9月27日（土）14:00～15:30

◇講 師：大久保正禎さん（日本基督教団西片町教会牧師）

◇会 場：日本キリスト教会館 4F 会議室（新宿区西早稲田 2-3-18）

◇主 催：日本キリスト教協議会（NCC）

●移住連オンライン入門講座●

◇日 時：9月30日（火）19:00～20:30

◇講 師：師岡康子さん（弁護士・外国人入国法連絡会）

◇テーマ：日本における人種差別の現状と課題——ヘイトスピーチ、ヘイトクライムを中心に

◆申込先 <https://forms.gle/LEcSajBDmHQjJyaCA>